

～下田のデキゴト～



12/20～1/31 水仙の香る爪木崎

第55回水仙まつりが爪木崎水仙園で開催され、日曜日には池之段煮味噌鍋のサービスや下田太鼓の演奏が行われました。訪れた人たちは、青い海とともに真っ白な水仙を楽しんでいました。



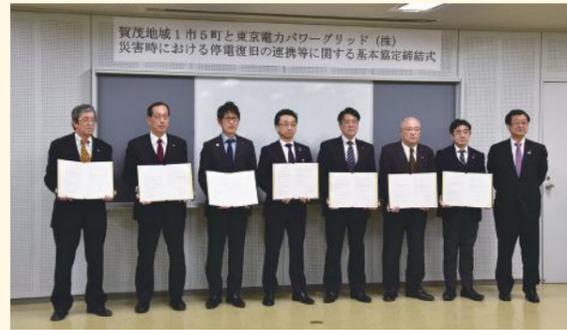
12/23 地域住民の健康増進に協力

賀茂1市5町と明治安田生命保険相互会社平塚支社は、健康増進や健康寿命延伸などに関する連携協定を締結しました。県内でも高齢化率の高い賀茂地域にとって、地域の高齢者が健康に暮らせる仕組みとして期待されます。



12/25 藍綬褒章受章を報告

清田美保子さん(77歳)が、秋の褒章における「藍綬褒章(更生保護功績)」受章を市長に報告されました。清田さんは保護司として、平成9年から活動され、犯罪や非行に陥った人たちの更生や社会復帰支援にご尽力されました。



12/23 災害時の協力関係を構築

賀茂1市5町と東京電力パワーグリッド伊豆支社は、災害時の停電復旧の連携などに関する基本協定を締結しました。賀茂地域では台風被害が頻発しているため、この協定が迅速な停電復旧に活かされることが期待されます。



12/25 新たなまちづくりの可能性を模索

市では、10月から若手職員と市民メンバーで3つのチームを構成して政策研究に取り組んでいます。3月の最終発表に向け、歴史や自然を活かしたまちづくり、観光活性化、グリーンインフラをテーマに中間発表を行いました。



1/13 駅伝用にスポーツドリンクを寄贈

「下田河津間駅伝競走大会」への協賛として、ダイドーバレッジサービス株式会社から大会に提供されるスポーツドリンク720本を寄贈いただきました。寄贈式ではスポーツドリンクの目録パネルが手渡されました。

1月のできごと

- 4日 市内保育所・認定こども園(保育部) 保育始め
- 6日 市内小・中学校始業式
- 7日 市内幼稚園・認定こども園(幼稚部) 始業式
- 10日 成人式

- 16日 下田わくわくパーク「これば!」伝承遊びを楽しもう
- 17日 プレママパパセミナー
- 20日 第2回下田おもてなしプログラム
- 29日 巡回交通事故相談

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎272200



3月の予定

- 3日(水) めだかルーム
①9時～11時30分②13時～15時30分
- 5日(金) 誕生会 10時30分
- 10日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 11日(木) うさぎルーム 9時～11時30分
- 12日(金) ふれあい遊び※午後閉館(清掃・消毒)
- 15日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所: 市民スポーツセンター(サンワーク)
- 22日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 30日(火) ふれあい遊び※午後閉館(清掃・消毒)
- 31日(水) 閉館(年度末事務整理日)

暦の上で立春を迎え、春の訪れを待っていた植物たちがあちらこちらで芽を出し始めたようです。花壇のチューリップの芽もだいふ伸びてきました。「何色のお花が咲くのかなあ…」お母さんと一緒に楽しみにしている子どもたちです。子どもの肌は皮脂膜がない分乾燥によりとても傷つきやすいといわれています。乾燥しやすいこの時期には保湿クリーム等で肌を守ってあげましょう。感染症も気が抜けない状況です。抵抗力を高め感染症予防を万全に、日頃からの予防で、毎日楽しく過ごせるようにしましょう。



こんにちは、市長です

「毎日の体調管理をみんなです。」

新型コロナウイルスの猛威で、東京等の大都市圏は混乱の中にあります。私たちのこ下田市は、その経済のなんと9割以上が観光に依存または関連しているため、多くの事業者さんが今厳しい状況にあります。

「伊豆の美しい景色を見てリラックスしたい。でも今は旅行に行きづらい」「飲食は、今、行つてはいけない空気がある。だからお店には行けない」

こうした声も聞かれます。しかし、私たち下田市はコロナになんか負けてられません。感染者の発生を抑え、市民の安全を図りつつ、観光など経済も維持する。そのため、市ではいくつものチャレンジを行つています。ここではそのひとつ下田冬モデルをご紹介します。

冬モデルの心臓部は、「毎日健康チェックカード」です。毎日、朝夕2回検温と5項目の体調チェックを記録して、自分の健康を管理するということです。感染症の流行下では、健康は自分一人のものではなく、健康はみんなの「財産」です。そこで、自分の体調を日常的に記録し、それを他人にも見せられるように携帯所持しようという形にしました。これは動態観測という、土木等の安全工学を応用したものです。イベント会場入り口での検温といった、その場の「点」での対応でなく、常日頃から体調の動きを観察し記録し続ける、つまり「線」で管理するものです。これを市民が丸となつて取り組むことで、下田市全体を安全にし、ひいては経済も持続可能にできるのではないかと考えています。この健康チェックカードはスーパー等で入手可能です。市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

